

タイムテーブル

1日目(12月9日・土曜日)						
時刻	A会場 2301	B会場 2302	C会場 2101	D会場 2102	E会場 2201	F会場 2号館3階フリースペース
9:30-10:30	A1-0 開会式・大会長講演					
10:30-10:40	移動・休憩					
10:40-12:10	A1-1 大会企画シンポジウム 着床前遺伝学的検査(PGT-M)の倫理について考える	B1-1 公募シンポジウム 歳を重ねても自分らしく生き延びるための意思決定～同意能力評価と意思決定支援～	C1-1 公募ワークショップ 小児がん患者の妊孕性温存—情報提供の困難さについて考える—		E1-1 一般演題(口演) 1) 臨床倫理学履修学生のコンピテンシー低下傾向に応じた教育法の変更 2) 総巻物型物語ケースを使う臨床倫理ケーススタディ 3) 宇宙航空研究開発機構における人を対象とする医学系研究倫理教育プログラムの開発・検討と今後の課題 4) ICTを活用した医療的ケア児者の子ども時代からの参加・地域共生支援と課題: 学校教育に係る検討を中心に	
12:10-13:15	昼食(屋敷使用可スペース、パレットゾーン2階、3201教室(受付横)、大学食堂)				評議員会 2401	
13:15-14:45		B1-2 公募シンポジウム 安楽死を望む患者にどう対応したらよいか: オランダの研究者との意見交換をもとに考える	C1-2 公募ワークショップ クリニカル・シアターとは何か: 特異性とその実際	D1-1 公募シンポジウム 女性の「経験」の行方—代理出産における恣意的な解釈と忘却	E1-2 一般演題(口演) 1) 告知に関する死生観の比較研究-高校生調査に関する一考察- 2) 「脳死」概念と有機的統合性—IntegrityとIntegration概念の歴史の変遷 3) 「臓器売買」をどのように防ぐのか—「イスタンブール宣言」とWHO行動原則の考察 4) 台湾における臓器移植と終末期医療の課題—心停止後の臓器提供プロセスに関するガイドラインの制定と実践	ポスター掲示のみ
14:45-15:15	お茶休憩 (無料コーヒー・紅茶 大会会場3階フリースペースにて提供)					
15:15-16:45	A1-2 大会特別企画 特別講演: Anticipatory Governance of Gamete Donation and Anonymity Politics in Taiwan (逐次通訳)  シンポジウム: 提供配偶子による生殖医療と子どもの出自を知る権利—配偶子提供を受けて親になった人が抱える課題—	B1-3 公募シンポジウム 倫理委員会委員のインフラプラットフォーム	C1-3 公募ワークショップ 動物倫理と生命・環境倫理の接点	D1-2 公募ワークショップ 神経科学がもたらす「新しい価値と権利」の可能性	E1-3 一般演題(口演)(17:25まで) 1) 医療被ばく低減のためのNudgeの考察 2) ステークホルダー間の協働による政策のためのエビデンス創出と政策実装に向けた取り組み 3) 医学研究におけるデータの利活用と研究対象者の権利のバランスを図るための制度比較の試み 4) 保険領域での遺伝情報の取り扱いへの意識調査 5) ヒト胚モデルを作成する研究に関する意識調査の国際比較 6) AI(人工知能)の生命倫理—医療におけるAI利用の生命倫理原則構築の試み—	F1-1 ポスターセッション (16:55まで) 1) 人と社会に焦点を当てた医学教育実習の可能性 2) 農学部1年生の「生命倫理」講義受講前と受講後における倫理的問題に対する意識の変化 3) 日本におけるアフターケアの現状と課題: ドイツとの比較を通して 4) 医学部医学科を除く大学・短期大学の研究倫理審査委員会の状況に関する研究 5) COVID-19の治療に関するインフォームド・コンセントにおける倫理的課題についての実態調査 6) 小児のゲムデータ共有における倫理的課題—再同意に関するバイオバンクの現状と意見— 7) 中絶胎児の組織を研究利用に提供する可能性のある、もしくはは提供する決断をした女性への支援について—看護の視点からの考察— 8) 現代日本の「苦痛削減思想」と「反出生主義」検討 ショーベンハウアー 哲学を1つの手掛かりとして 9) 日本の結核研究における子どもの人体実験
16:45-17:15						
17:30-18:45					理事会 2401	

タイムテーブル

2日目(12月10日・日曜日)						
時刻	A会場 2301	B会場 2302	C会場 2101	D会場 2102	E会場 2201	F会場 2号館3階フリースペース
9:20-10:50	<b>A2-1 学会企画ワークショップ(研究倫理宣言再検討委員会設置WG)(学食会員限定プログラム)</b>  日本生命倫理学会「研究倫理宣言?」策定に向けて—「暫定版」から「確定版」へ	<b>B2-1 公募シンポジウム</b>  先端生命科学を取り巻くデュアルユース性への対応にむけて	<b>O2-1 公募ワークショップ</b>  高齢社会におけるAI・コミュニケーションロボット活用の倫理的側面～本人の自己決定権・プライバシー保護に焦点をあてて	<b>D2-1 若手発表奨励賞セッション</b>  1) ケアの倫理から考える精神障害者家族 2) ケーゼにおける看護のケアリングと安楽死 3) 胎児—妊婦研究における同意の問題 4) ワクチンをめぐる責任—日本とインドでのHPVワクチン接種の比較から	<b>E2-1 一般演題(口演)</b>  1) 生殖補助医療で生まれた子の「福祉の格差」とアマルティア・センのケイパビリティ 2) Results of Research on the ethical acceptability of Artificial Womb Technology in Japanese Students 3) 産科超音波検査の倫理的課題の検討	ポスター掲示のみ
10:50-11:00	休憩					
11:00-12:30	<b>A2-2 学会企画シンポジウム</b>  患者・市民参画(PPI)という諸刃の剣	<b>B2-2 公募シンポジウム</b>  進化する現代社会で生命倫理法が果たすべき役割とは何か—2021年フランス生命倫理法を題材に再考する—	<b>O2-2 公募ワークショップ</b>  AI(人工知能)と生命倫理 ～[その1] 生成 AIの是非をめぐって	<b>D2-2 若手論文奨励賞受賞者を囲んで(12:00まで)</b>  FPIC(研究の開始に先立つ協議と自由意思による同意)概念の検討:アイヌ民族研究の倫理指針案を手がかりに	<b>E2-2 一般演題(口演)</b>  1) 将来の子の知能を予想する着床前検査の倫理:親と社会の観点 2) 臨床倫理コンサルテーションにおける相談内容の分類と倫理支援の課題—COVID-19に関連する倫理的支援— 3) アドバンス・ケア・プランニング支援におけるエフェクチュエーションの実践的な活用についての検討	
12:30-13:10	昼食(学食使用可 3201教室(受付館大教室)(無料コーヒー・紅茶 大会会場3階フリースペースにて提供)					
13:10-14:40	總會対面(ハイブリッド)(2401)					
14:40-14:45	移動					
14:45-16:15	<b>A2-3 国際シンポジウム(国際交流委員会)</b>  Current Topics of Bioethics around the Globe:Disability Bioethics and The Ethics of Live Uterus Donor Recruitment	<b>B2-3 公募シンポジウム</b>  COVID-19下における独居高齢者問題に関する、哲学・生命倫理的、宗教学的、介護学的、法学的考察	<b>O2-3 公募ワークショップ</b>  フェミニスト生命倫理学の発展に向けて	<b>D2-3 公募シンポジウム</b>  病名とスティグマ	<b>E2-3 一般演題</b>  1) 「患者の自律」を問い直す 2) 「人間の尊厳」と「全人性」理念の語用論的考察—5つの場面を概観する試み 3) 生命倫理問題における「当事者」の複数性と多元性 4) 「ケアの倫理」からジョイスを読む—「麻痺」の告発から父性の虚構へ—	
16:15-16:25	休憩					
16:25-17:55	<b>A2-4 大会企画シンポジウム(一般無料公開)</b>  世代間倫理と生命倫理	<b>B2-4 公募シンポジウム</b>  医学研究の中の胎児—妊婦をめぐるELSI:新しいフレームワークの構築に向けて	<b>O2-4 公募ワークショップ</b>  バイオエシックス教育の課題と展望—高校生に対するバイオエシックス教育—	<b>D2-4 公募シンポジウム</b>  製薬会社と当事者・市民協働参画～現場からの報告と対話～		
17:55-18:10	閉会式					